

ほけんだより



令和4年6月24日
岩田小学校 保健室
学校保健委員会号

6月3日（金）に令和4年度岩田小学校学校保健委員会を開催しました。長澤弘子先生（NPO 法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所理事長）を講師としてお招きし、メディアの使い方についてお話していただきました。学校保健委員会には、PTA の皆様、保護者（希望者）の皆様、5・6年生児童、学校職員が参加し、メディアとの上手な付き合い方について考える機会となりました。参加して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。

学校保健委員会テーマ

「自分の生活を大切にしたいメディアの使い方を考えよう！
～メディアが心や身体に与える影響について～」

インターネットのしくみ

インターネット・・・世界中の情報機器を接続するしくみ

インターネットの世界では・・・



世界中の
45億人が
つながっている

直接はつなが
っていない

大人も子ども
も同じルール

24時間
いつでも
ずっと

文字・写真・
動画・音楽など
いろいろある

◎インターネットの良いところ

便利

いつでも どこでも
速い 世界中に すぐに たくさん

↓
自分は動かなくても、情報やモノが動く

△インターネットの悪いところ

- ・「正しいか、間違っているか、本当か、嘘か」が分からない、確かめることが難しい
- ・一度インターネットに出たものは、完全に消せない、残っている
- ・書いた人や、写真や動画を載せた人は誰か分かってしまう



☆インターネットは、便利な反面、危険もたくさん

☆子どもが関係する事件も起きています

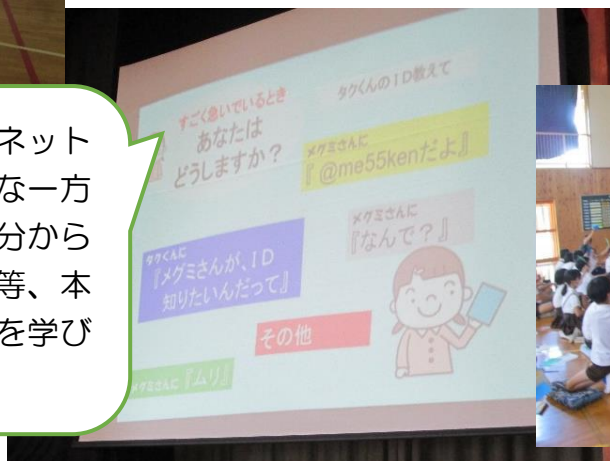


よく考えてメディアを使いましょう！



事例を用いながら、インターネット上でのやりとりは簡単で便利な一方で、相手の思っていることが分からずトラブルに発展してしまう等、本当は難しいことだということを学びました。

インターネットは、自分の使い方次第で、良いものになったり悪いものになったりします。自分や友達を守るために、ネットの危険性や難しさを知り、よく考えて使うことの大切さを学びました。困ったときは信頼できる大人に相談しましょうという助言もいただきました。



【感想を紹介します】

(児童)

- 一度インターネットに出たものは完全に消せないことや、正しいか間違っているか、本当か嘘かを確認するのが難しいことが分かった。
- インターネットに載っていることを絶対に正しいと考えないようにしたいなと思った。
- 困ったときは、信頼できる大人に相談することが大切だと知った。メディアを使うときは、家の人と使うようにしたい。
- インターネットは便利で生活に不可欠なものだけど、使い方を一歩間違えると大変なことが起こるので、仕組みを理解したうえで、生活を豊かにするツールとして使っていきたい。

(保護者)

- インターネットは簡単に使えるものになっているが、間違った使い方をするのは怖い。与える大人も、考えて子どもにスマホやゲームを与えるようにしないといけない。
- (インターネット上では、) 大人も子どもも、権利も責任も平等。ネットの中では相手の気持ちはわからないから、自分の責任でよく考えて使うなど、便利であるが難しい面も多いことを理解しないといけない。困ったときは大人に相談するように伝える。
- 長澤先生のお話を家族にも伝えたい。

メディアは私達の生活の中で、切っても切り離せないものとなっています。だからこそ、メディアの与える影響を考え、家族全員でメディアと上手く付き合っていく生活を送れるようにしたいですね。ぜひこの機会に、メディアの使い方についてお子さんと話し合ってみてください。